

第67回 全日本実業団対抗陸上競技選手権大会要項

注意：当大会要項は2019.3.5現在での決定事項であり、これ以降に訂正が発生した場合は当大会ホームページに変更後の大会要項を再掲載する。

- ◆主 催 日本実業団陸上競技連合
- ◆主 管 大阪陸上競技協会
- ◆共 催 毎日新聞社 大阪市（予定）
- ◆後 援 日本陸上競技連盟 大阪府（予定） 大阪府教育委員会（予定）
大阪市教育委員会（予定） セレッソ大阪スポーツクラブ
- ◆運営協力 関西実業団陸上競技連盟
- ◆協 力 株式会社TBSテレビ
- ◆協 賛 ミズノ株式会社

1. 期 日 2019年9月20日（金）～9月22日（日）
 (1) 9月20日（金） 競技開始 15時30分
 (2) 9月21日（土） 競技開始 10時00分
 (3) 9月22日（日） 競技開始 9時30分 閉会式 競技終了後

2. 会 場 ヤンマースタジアム長居、ヤンマーフィールド長居
 〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園 1-1 TEL(06)6691-2500

3. 種 目 合計45種目
 (1) 一般 競技（男子）21種目 （女子）20種目
 (2) 競技(J)（男子） 2種目 （女子） 1種目
 (3) ミックス 1種目

第1日目（男子）1500m、4×100mR(予)、4×400mR(予)、走幅跳(予)、
 (9/20) 円盤投(予)、ハンマー投(予)、J1500m

(女子)800m、10000m、4×100mR(予)、J3000m

第2日目（男子）**100m、400m**、800m、10000m、3000mSC、10000mW、
 (9/21) 4×100mR、**棒高跳**、走幅跳、**砲丸投(予)**、円盤投、ハンマー投、
 やり投(予)

(女子)**100m**、1500m、**400mH**、3000mSC、10000mW、
 4×100mR、**棒高跳**、走幅跳、砲丸投、やり投

第3日目（男子）**200m**、5000m、**110mH**、**400mH**、4×400mR、**走高跳**、三段跳、
 (9/22) 砲丸投、やり投、J5000m

(女子)**200m**、**400m**、5000m、**100mH**、**走高跳**、三段跳、円盤投、ハンマー投
 (ミックス)4×400mR

(注)① 日程に変更がある場合は、当大会ホームページに掲載する。

② 男女共800m、1500m、5000m、10000m、女子J3000mはタイムレースとし、
 他のトラック競技は原則として予選を行なう。

③ 男子J1500m、J5000m、女子J3000m、ミックス4×400mRはオープン競技とする。

④ ジュニア(J)は1999年4月2日以降に生まれた者。

⑤ 男子走幅跳及び投てき競技においては、参加人数により予選ラウンドを行う
 場合がある。実施の場合は、20.予選ラウンド通過記録にて予選を行う。

(4) 中学生招待種目（予定） 男子2種目 女子2種目

第1日目（男子）3000m、（女子）1500m

第3日目（男女）4×100mR

4. 参加資格 2019年度日本実業団陸上競技連合の登録者で下記(1)～(3)のいずれかに該当する者。

(1) 第66回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会の優勝者。

但し、その種目に限る(参加料は無料)。

(2) 第67回全日本実業団対抗選手権大会の各地域連盟予選会に出場した者で、以下

の①②のいずれかに該当する者。(但し、リレーは除く)

① 各地域予選会で3位までに入賞しB標準記録に到達した者。

② A標準記録に到達した者。

*標準記録有効期間は2018年1月1日から2019年8月16日(金)とする

※ ①および②の標準記録到達により参加資格を得た者は、エントリー完了後、直ちに「記録証明書」を所属の地域連盟へ提出すること。

- (3) 特別の事由(身体の故障等)により上記(2)の地域予選会に出場できなかった者が本大会に参加を希望する場合は、「理由書」と上記(2)－②と同様に標準記録に到達した「記録証明書」を添えて所属の地域連盟に申請し審査を受けること。
- (4) 参加単位は、会社、工場、官公庁、商店等の事業所単位とする。
①自衛隊は師団別、自衛隊体育学校は登録地域連盟別とする。
②警察は都道府県別とし、教職員は学校別とする。
- (5) 参加者の着用するユニフォームのチーム名・チームロゴは、その競技者の実業団登録団体名とする。なお、表記位置・サイズ等は日本陸連の定める規格を遵守すること。
- (6) 外国人競技者は、前年度労働契約を締結した日以降、日本国内に滞在した日数が延べ累計120日以上(前年度が初年度の場合は180日以上、移籍後も同様)であり、連盟に登録申請した日から6か月経過していなければならない。
但し、前年度に前項に規定する日数以上の日本国内での滞在実績がある外国人競技者は、新年度の9月末日までに開催される実業団所管の競技会に出場することができる。また今年度、学校教育法第1条に定める学校を卒業し引き続き採用された競技者については日数による制限はしない。外国人競技者が当大会に出場の場合は、滞在日数確認のため外国人資格審査書(大会ホームページよりダウンロード)及び証明できる資料を申し込み時に提出すること。
- (7) 男女5000m、10000mは、各チーム1名の補欠を認める。但し、補欠は参加資格を有する者に限る。なお、補欠の申込はWEBエントリーでの種目=5000m(補欠)、10000m(補欠)にて行うこと。補欠との交代申請は、9月20日(金)12時まで所属の地域連盟事務局に定型書面にて提出すること。

5. 参加制限 (1) 一人の参加し得る種目は、リレーを除き3種目までとする。
(2) 1種目の出場は1チーム3名以内とする。但しジュニア種目はその限りではない。
なお、リレーは6名連記以内とする。
(3) 外国人競技者は1チーム2名以内とする。

6. 参加料 1種目1名2,000円、リレーは1チーム4,000円とする。

7. 得点・表彰 (1) 入賞得点は下表のとおりとする。

優勝	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
9	7	6	5	4	3	2	1

(2) 大会新記録以上を更新した者には、順位得点以外に次のボーナス得点を与える。

日本新	日本対	大会新
10	5	2

- (3) 外国人競技者には入賞得点を与えるが、ボーナス得点は対象外とする。大会記録を更新した場合の取り扱いは、大会参考外国人記録として認定する。
- (4) 団体総合優勝には、日本実業団陸上競技連合優勝旗を授与する。
男子総合優勝には男子優勝杯を、女子総合優勝には女子優勝杯を授与する。
- (5) 各種目の優勝者には選手権賞を授与する。
各種目の第3位までに賞状及び褒賞を与える。
なお、優秀選手及び敢闘選手を選考し表彰する。
- (6) オープン種目も第3位まで表彰する。但し、入賞得点は与えない。
- (7) 男女総合得点第6位までのチームに賞状を授与する。
- (8) 特別表彰として、通算10回出場者を表彰する。
該当者は、実業団連合ホームページより申請書をダウンロードし必要事項を記載の上、エントリー終了後、直ちに所属の地域連盟事務局へE-mailにて申請すること。

8. 代表選手選考 実業団連合海外派遣及び連合合宿の候補選手の選考対象とする。

9. 申込方法 (1) 以下に記載する所属地域連盟エントリーURLよりWEBエントリーを行うこと。
 なお、エントリー期間は、7月5日(金)9時より8月16日(金)17時までとする。
 <エントリーURL> (確定次第掲載)
 【東日本】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/XXX>
 【中部】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/XXX>
 【北陸】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/XXX>
 【関西】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/XXX>
 【中国】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/XXX>
 【九州】 <https://m4.members-support.jp/JITA/Entries/add/XXX>
 ※WEBエントリーは、下記の実業団連合ホームページからも可能
 【連合】 <http://www.jita-trackfield.jp/schedule/>
 (2) 参加料については、エントリー申込み後、速やかに次項に記載する所属地域連盟の指定口座に振り込むこと。
 (3) その他提出が必要な書類については、実業団連合ホームページに掲載する。

10. 最終エントリーについて (出場意思確認)

- (1) 当大会は、トラック種目の予選及びタイムレース決勝を対象に、欠場者を除いた競技者にて番組編成を行う事により組編成の公平性等を保つ為、競技種目開始前に最終エントリー (出場意思確認) を実施する。
 (2) 最終エントリーの確認手順については、詳細が確定次第、当大会ホームページに掲載する。(競技注意事項にも掲載する)
 (3) 確定した組編成は、TIC及び第1ゲート外側の記録ボードに掲示し、日本実業団陸上競技連合ホームページにも掲載する。
 (4) 最終エントリー提出後に欠場する者は、本大会規定の欠場届けを競技注意事項に記載の通りにて提出すること。

11. 参加料振込先及び提出書類送付先

- (東日本) 三井住友銀行 人形町支店 普通預金口座 0908198
 東日本実業団陸上競技連盟 事務局長 佐久間 幸宏 (TEL:03-3861-6116)
 〒101-0032 千代田区岩本町 2-10-2 神田ウサミビル 601号
 E-mail: hnj_2016@yahoo.co.jp
- (中部) 三菱UFJ銀行 刈谷支店 普通預金口座 461111
 中部実業団陸上競技連盟 事務局長 畑田 直樹 (TEL:0566-26-7607)
 〒448-8651 愛知県刈谷市豊田町1丁目1番地 トヨタ紡織株式会社渉外広報部内
 E-mail: yuko.kimura@toyota-boshoku.com
- (北陸) 北陸連盟事務局会社の変更有り、決定次第記載
- (関西) みずほ銀行 大阪支店 普通預金口座 1446562
 関西実業団陸上競技連盟 理事長 永田 澄博 (TEL:06-6949-8880)
 〒540-8511 大阪市中央区馬場町 3-15 NTT西日本ビル 1F (事務局長 松本 政大)
 E-mail: sadaki@kansairenmei.com
- (中国) 中国労働金庫 鋼管町支店 普通預金口座 7081544
 中国実業団陸上競技連盟 事務局長 坂梨 博 (TEL:084-945-3930)
 〒721-8510 広島県福山市鋼管町1番地 JFEスチール(株)西日本製鉄所
 E-mail: chujitsu2015@jita-trackfield.jp
- (九州) 西日本シティ銀行 戸畑支店 普通預金口座 1268644
 九州実業団陸上競技連盟 事務局長 松本 忠 (TEL:093-883-8155)
 〒806-0002 北九州市八幡西区東浜 6-12 黒崎播磨研修センター2F
 E-mail: k-rikujo@syd.odn.ne.jp

12. 監督会議 2019年9月20日(金)14時00分(※)

ヤンマースタジアム長居 メインスタンド下の室内練習場

※監督会議の時間は変更となる場合がある。

変更の場合は、実業団連合ホームページに掲載するので確認のこと。

13. 本部宿舎 未定

14. ドーピングコントロール

(1) ドーピングコントロール

国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規程、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。

尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。日本陸上競技連盟に登録していない競技者も同様に従うこと。

尚、競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真のついた学生証、社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例（TUE）”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のホームページ

(<http://www.jaaf.or.jp/about/resist/medical/>)、又は日本アンチ・ドーピング機構ホームページ (<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

15. 注意事項

(1) 競技は2019年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会申し合わせ事項により実施する。

(2) 使用器具については、競技場備え付けの器具を使用する。

但し、投てき用器具及びポールについては、検定を受けて使用することができる。

(3) エントリー後の欠場については、欠場届けの提出手順が確定次第、当大会ホームページに掲載する。

(4) 男女10000m競歩の競技者は、58分を過ぎて新たな周回に入ることはいできない。

16. その他 (1) ポール、やりの送付先

〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区长居公園 1-1 Tel (06) 6691-2500

ヤンマースタジアム長居

(2) ポール、やりの輸送

(配達日) 9月19日(木)必着で依頼すること。(厳守)

(返送) 希望者に限り9月21日(土)競技終了後、本部前にて受付を行なう。

但し、運搬費用は自己負担とする。

※ポールの宅配便輸送については、実業団連合ホームページの「第67回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会(競技会スケジュール)」にて、別途案内する。

17. 練習会場の使用時間・日程

会場	9月19日(木)	9月20日(金)	9月21日(土)	9月22日(日)
主競技場	12:00~18:00	10:00~15:00	×	8:00~9:00
補助競技場	12:00~16:00	10:00~21:00	8:00~20:30	7:30~18:30

※ 主競技場はトラックのみ使用可

※ 跳躍・投てきの練習会場は補助競技場を予定。練習時間が決定次第、実業団連合ホームページ並びに地域連盟事務局を通じて通知する。

18. 宿泊申込 別途「宿泊要項」により斡旋する。

19. 第 67 回 全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 参加標準記録一覧表

区分	トラック競技			フィールド競技		
	種目	A標準記録	B標準記録	種目	A標準記録	B標準記録
男子	100m	10" 70	11" 00	走高跳	2m06	2m00
	200m	<u>21" 50</u>	22" 00	棒高跳	<u>5m00</u>	4m60
	400m	48" 00	50" 50	走幅跳	7m30	7m00
	800m	1' 53" 00	1' 57" 00	三段跳	<u>15m50</u>	14m80
	1500m	3' 53" 60	3' 55" 00	砲丸投	<u>14m50</u>	13m00
	5000m	14' 05" 00	14' 15" 00	円盤投	42m00	38m00
	10000m	28' 50" 00	29' 20" 00	ハンマー投	52m50	50m00
	110mH	14" 30	15" 50	やり投	<u>66m00</u>	62m00
	400mH	52" 00	56" 00			
	3000mSC	9' 05" 00	9' 25" 00			
	10000mW	<u>45' 00" 00</u>	47' 00" 00			
		<5000mW>				
		<u>21' 30" 00</u>	22' 30" 00			
	4×100mR	—	—			
4×400mR	—	—				
女子	100m	12" 40	13" 00	走高跳	1m60	1m50
	200m	25" 50	26" 00	棒高跳	<u>3m80</u>	3m40
	400m	57" 70	59" 50	走幅跳	5m75	5m20
	800m	2' 13" 00	2' 20" 00	三段跳	11m90	11m00
	1500m	4' 28" 50	4' 30" 50	砲丸投	12m00	10m50
	5000m	16' 10" 00	16' 30" 00	円盤投	<u>40m00</u>	35m00
	10000m	<u>33' 30" 00</u>	34' 00" 00	ハンマー投	<u>50m00</u>	45m00
	100mH	14" 80	15" 50	やり投	<u>50m00</u>	45m00
	400mH	<u>62" 00</u>	65" 00			
	3000mSC	<u>10' 45" 00</u>	11' 00" 00			
	10000mW	<u>51' 00" 00</u>	53' 00" 00			
		<5000mW>				
		<u>25' 00" 00</u>	26' 00" 00			
	4×100mR	—	—			
MIX	4×400mR	—	—			
オープン	男子	J1500m	4' 00" 00	—		
		J5000m	15' 00" 00	—		
	女子	J3000m	9' 45" 00	—		
		<5000m>	—			
		16' 30" 00				

(標準記録の有効期間：2018年1月1日～2019年8月16日まで)

- * 1 予選種目の組み合わせは、有効期間内の最高記録で行なうので、参加申込書の記録は正確に公認記録を記入すること
- * 2 アンダーラインは、新標準記録
- * 3 A標準記録：地域連盟大会出場者、B標準記録：地域連盟大会3位以内入賞者に限る

20. 予選ラウンド通過記録

男子走幅跳および投てき競技において予選ラウンドを実施する場合は、予選通過記録は以下のとおりとする。なお、投てき競技の予選ラウンドは、ヤンマーフィールド長居で実施する。

種目	男子	女子
走幅跳	7 m 4 5	—
砲丸投	<u>1 6 m 0 0</u>	1 3 m 5 0
円盤投	<u>5 0 m 0 0</u>	4 2 m 0 0
ハンマー投	6 1 m 5 0	5 5 m 0 0
やり投	<u>7 0 m 0 0</u>	5 2 m 5 0

※1. アンダーラインは、昨年から変更記録

※2. 女子投擲種目においては、エントリー数によって予選ラウンドを行う場合がある

21. その他 主催者は、個人情報の保護に関する法律および関連法令等を遵守し個人情報を取り扱う。尚、取得した個人情報は、大会の資格審査、プログラム編成および作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。
- 大会の映像・写真・記事・個人記録などは、主催者及び主催者が承認した第三者が、大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。
- 大会の映像は、主催者の許可なく第三者がこれを使用すること（インターネット上において画像や動画を配信することを含む）を禁止する。